

ファンドの運用状況

ー巨大な世界市場を舞台に成長を続ける日本のコンテンツー

ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株ファンド
愛称:エンタメ∞ニッポン 追加型投信/国内/株式

- 平素は「ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株ファンド(以下、当ファンド)」に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本レポートでは、当ファンドの運用状況についてご紹介します。

ファンドの運用状況について

基準価額は値動きの大きい展開が続く

当ファンドの基準価額は、9月末の9,000円前後から10月16日には9,600円台まで上昇し、昨年11月の水準まで回復しました。

9月中旬以降、株式市場ではAI・半導体関連株に再び投資資金が集中し、コンテンツ関連株は相対的に伸び悩む展開となりました。しかし10月に入ると、AIインフラ投資を巡る資金調達コストや投資採算への懸念に加え、データセンターの電力不足が半導体需要の拡大を制約するとの見方が強まり、AI・半導体関連株は下落しました。

その結果、堅調な業績に加えて相対的な出遅れ感のあったコンテンツ関連株へ投資資金の一部がシフトしたことが、当ファンドの基準価額上昇につながったと考えています。

7-9月期決算に向けて組入比率を調整

10月の運用では、積極的に投資をしていた時価総額の大きい一部のコンテンツ関連株への組入比率を引き下げ、ポートフォリオの分散を進めました。売却した資金は、放送局や国内アミューズメント関連株など、これまで組入比率が相対的に低かった銘柄へ幅広く振り向けました。

10月末から本格化する2026年7-9月期決算発表については、コンテンツ関連企業の業績は概ね良好な内容になると想定しています。一方、4-6月期決算が非常に好調だったことから市場の期待も高まっており、好決算であっても期待を上回れなければ株価が下落する可能性があるなど、決算発表後の株価反応を見通しにくい状況にあると判断しました。

こうした環境を踏まえ、特定の銘柄に投資を集中させるリスクは高いと考え、個別企業の決算発表が基準価額に与える影響を抑えつつ、幅広いコンテンツ・娯楽需要の成長を捉えられるポートフォリオへと調整しました。

図表1 基準価額の推移

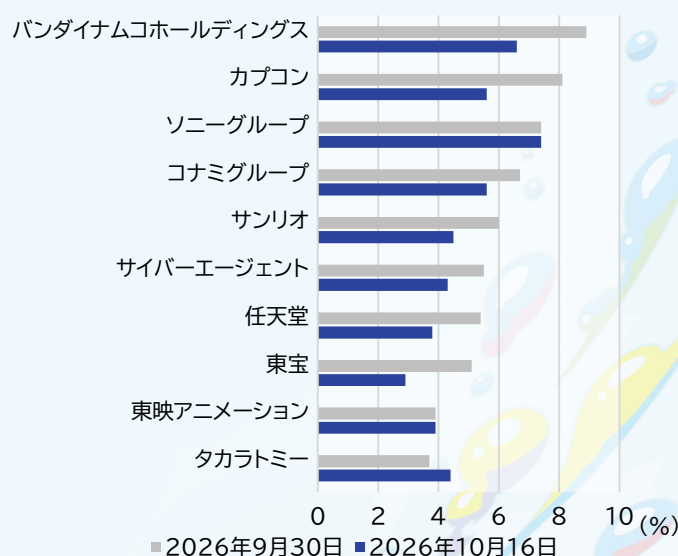
(期間 2025年9月26日～2026年10月16日、日次)



※基準価額は1万円当たり(信託報酬控除後)

※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

図表2 9月末の組入比率上位10銘柄の組入状況



※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する組入比率



アミューズメント、新時代へ！キャラクター人気を広げる「リアルな消費」

国内アミューズメント市場は好調に推移

国内アミューズメント関連企業では、既存店売上高が好調に推移しています。ラウンドワン、イオンファンタジー、GENDAの3社は、2026年4月から7月までのすべての月で、既存店売上高が前年同月を上回りました(図表3)。

なかでも成長が目立つのが、キャラクター商品との親和性が高いクレーンゲームの景品(プライズ)やカプセルトイです。イオンファンタジーでは、カプセルトイ専門店とプライズ専門店の売上高が大きく伸びており、国内アミューズメント消費を牽引する存在となっています(図表4、5)。

こうした好調な動きの背景として、次の3つの構造的な変化に注目しています。

変化① 人気IPがリアルな消費へ

人気アニメやゲームのキャラクター商品が、アミューズメント施設限定のプライズやカプセルトイとして数多く展開されています。限定商品や新商品の継続的な投入が、ファンの来店や消費を促しています。

また、クレーンゲームでは、商品そのものの魅力に加え、「自分で獲得する」という体験にも価値があります。人気IPの集客力と商品の限定性、獲得する楽しさが相まって、継続的な消費につながっていると考えています。

変化② 専門店化により利用者層が拡大

クレーンゲーム専門店の出店や小型機の増設に加え、低価格の景品や「取れやすさ」を訴求した売場や明るく入りやすい専門店が増えています。

こうした変化により、従来のゲームセンターユーザーに加え、ファミリー層やキャラクターファンにも利用者層が広がっていると考えています。

変化③ 手軽な娯楽へのニーズが拡大

物価上昇や先行きへの不透明感が続くなか、消費者は支出先をこれまで以上に選別しているとみられます。

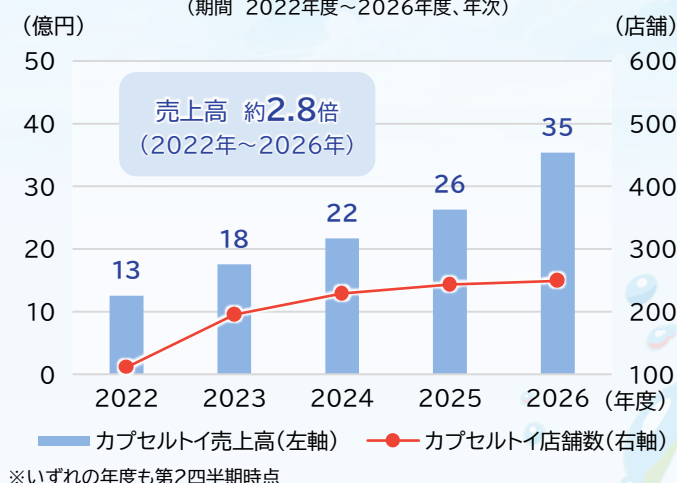
そのなかで、ゲームセンターやカプセルトイは、旅行や高額商品の購入などと比べ、「近場・短時間・少額」で楽しめる手軽な娯楽として、日常的な需要を取り込んでいると考えています。

* 上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および当ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

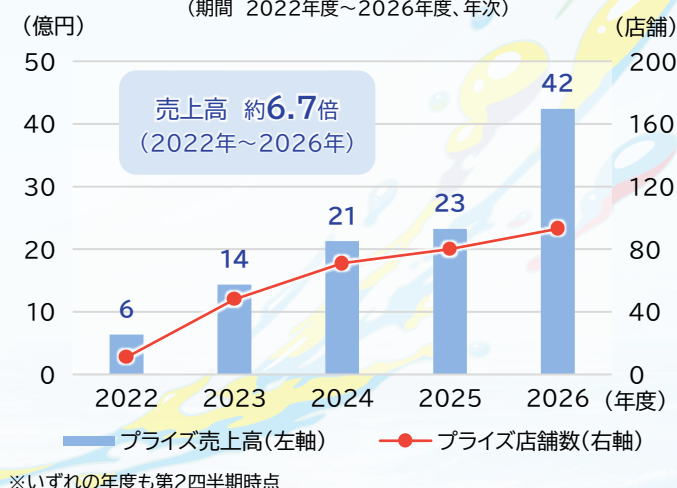
図表3 国内アミューズメント部門の既存店売上高(前年同月比)
(期間 2026年4月～2026年7月、月次)

	4月	5月	6月	7月
ラウンドワン	+12%	+26%	+21%	+31%
イオンファンタジー	+3%	+12%	+1%	+13%
GENDA	+7%	+13%	+2%	+16%

図表4 イオンファンタジー
カプセルトイ専門店の店舗数と売上推移
(期間 2022年度～2026年度、年次)



図表5 イオンファンタジー
プライズ(クレーンゲーム)専門店の店舗数と売上推移
(期間 2022年度～2026年度、年次)



(図表3～5の出所)会社公表資料を基にSBI岡三アセットマネジメント作成

販売会社一覧

2026年10月22日現在

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。
なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商 号	登 録 番 号	加 入 協 会			
		日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
岡三ビジネス&テクノロジー証券株式会社	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

※株式会社SBI証券は、一般社団法人日本STO協会にも加入しております。

委託会社
お問い合わせ先

電話番号
03-3516-1300(営業日の9:00~17:00)

ホームページ
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株ファンドに関する留意事項

■ 投資リスク

基準価額の変動要因

投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」、「特定の業種・テーマへの集中投資に係るリスク」、「流動性リスク」があります。

※「基準価額の変動要因」は、上記のリスクに限定されるものではありません。

留意事項

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。

■ お客様にご負担いただく費用

- 購入時手数料: $\text{購入金額(購入価額} \times \text{購入口数)} \times \text{上限} 3.3\% (\text{税抜} 3.0\%)$
- 換金手数料: **ありません。**
- 信託財産留保額: **ありません。**
- 運用管理費用(信託報酬): $\text{純資産総額} \times \text{年率} 1.628\% (\text{税抜} 1.48\%)$
- その他費用・手数料: 監査費用[$\text{純資産総額} \times \text{年率} 0.011\% (\text{税抜} 0.01\%)$]

有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。

(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)

○お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

○詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。



商号等: SBI岡三アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第370号
加入協会: 一般社団法人資産運用業協会

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みにしたがっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。